

関東連盟新聞 第29号!

★第78回全日本大学準硬式野球選手権大会

法政大学、サヨナラ勝ちで頂点！ 劇的勝利で優勝飾る

8月21日(金)～26日(水)にかけて、石川県で行われた第78回全日本大学準硬式野球選手権大会は、法政大学が25年ぶり4度目となる優勝を果たし、閉幕しました！

○出場校の最終結果

優勝



ベスト4

ベスト8

法政大学

明治大学

日本体育大学

ベスト16

立教大学

中央大学

神奈川大学

ベスト32

国士舘大学
世田谷



優勝した法政大学に インタビューしました！

Q1.全日本選手権大会を
振り返ってどうでしたか？

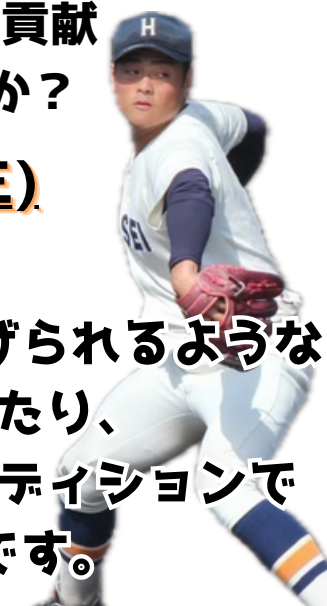
藤中 温人 主将(4年/鳴門)

日本一を目標に
練習してきた成果を
全て出せた訳ではありませんが、
その中で全員が自分の役割を果たし、試合後のケアのおかげで良いコンディションで
優勝する事が出来て良かったです。

Q2.あなたからみて一番チームに貢献
してくれた人は誰だと思いますか？

神藤 大揮 選手(3年/日大三)

トレーナーの方々です。
試合中に高いパフォーマンスで投げられるような
トレーニングを考えてくれたり、
決勝戦を迎えられたからです。



日本大学、15年ぶり5度目の優勝

8月30日(土)～9月3日(水)にかけて、大阪府で行われた清瀬杯は、日本大学が2011年以来5度目となる優勝を果たし閉幕しました！



優勝した日本大学にインタビューしました！



Q1.清瀬杯を振り返ってどうでしたか？

西河 陸人 主将(3年/大垣日大)

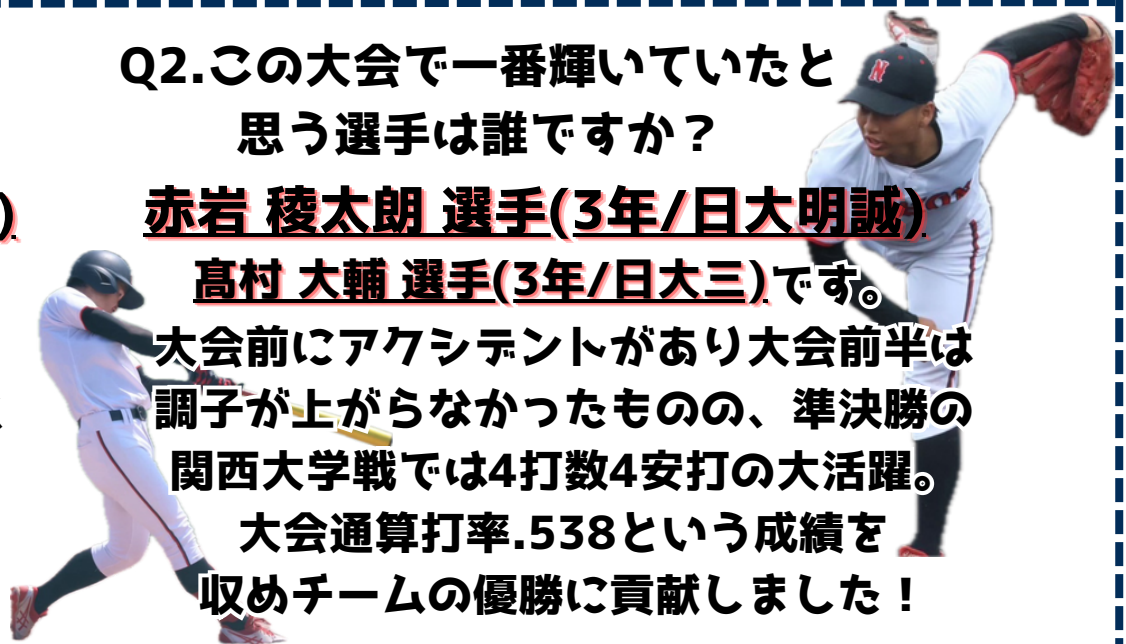
新チームとして初めて臨んだ大会で、苦しい試合も多くありましたが、全員で声を掛け合い最後まで粘り強く戦うことができました。優勝を通してチームの成長を感じることができた大会でした。

Q2.この大会で一番輝いていたと思う選手は誰ですか？

赤岩 稜太郎 選手(3年/日大明誠)

高村 大輔 選手(3年/日大三)です。

大会前にアクシデントがあり大会前半は調子が上がらなかったものの、準決勝の関西大学戦では4打数4安打の大活躍。大会通算打率.538という成績を収めチームの優勝に貢献しました！



秋季リーグに懸ける想い

4名の選手にラストシーズンや新チームに向けた熱い想いをお聞きしました！

Q1.これまでのJUNKO人生を振り返っていかがでしたか？

松村 宥汰 選手(4年/東海大学)

熱い青春でした。主将を務めたことで仲間の大切さを学び、他大学との交流など、かけがえのない経験ができました。野球人生で一番成長できた、最高の時間を過ごせました。

Q2.秋季リーグに向けての意気込みをお願いします。

林 碧生 選手(3年/東海大学)

個性的な選手たちと共に、楽しむところはとことん楽しみながら Enjoy & powerful Baseballで一戦一戦全力勝利を目指して頑張ります。もちろん全員野球は真面目です。

Q1.これまでのJUNKO人生を振り返っていかがでしたか？

檜木 照大 選手(3年/日本大学三崎町)

JUNKOを通じて、野球の面白さはもちろん、仲間と一つの目標に向かって努力する楽しさを再認識することができました。また、野球を通じて得た感謝する心や、勝利を目指す過程での経験は、これからも大切にしていきたいです。

Q2.秋季リーグに向けての意気込みをお願いします。

加藤 大雅 選手(3年/日本大学三崎町)

秋シーズンは試合数が少なく、自分としては春のリーグ戦にあまり参加できてなかったのが秋のリーグ戦ではチームに貢献できるよう頑張ります。

